

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	表現コミュニケーションⅡ	
科目基礎情報							
科目番号	201030			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Talk a lot Book 1: Second Edition (Publisher: EFL Press), ハンドアウト,						
担当教員	セイント ジュリアン,古庄 清宏						
到達目標							
(1)日常生活の身近な表現や幅広い話題について情報や考えを理解することができるように、リスニング力を向上させる。 (2)「聞く」だけでなく「話す」「書く」活動を通して英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができ、情報や自身の考えを適切に表現することができるよう言語運用能力を向上させる。 (3)CEFR A2レベルの英語表現や言い回しを理解し適切に用いることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1		日常で使われる英語表現や幅広い話題について細かな点まで正しく理解することができる。		日常で使われる英語表現や幅広い話題について正しく理解することができる。		日常で使われる英語表現や幅広い話題について正しく理解することができない。	
評価項目2		英語によってコミュニケーションをとることができ、自分の意見や考えを積極的に述べることができる。		英語によってコミュニケーションをとることができ、自分の意見や考えを述べることができる。		英語によるコミュニケーションに困難を感じ、自分の意見や考えを積極的に述べることができない。	
評価項目3		CEFR A2レベルの英語表現と言い回しをしっかりと習得している。		CEFR A2レベルの英語表現と言い回しを習得している。		CEFR A2レベルの英語表現と言い回しを習得できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日常生活の身近な表現や幅広い話題について情報や考えを理解することができるように、リスニング力の向上を図る。また、「話す」「書く」の言語活動を通して英語を用いて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成し、情報や自身の考えを適切に表現することができるよう言語運用能力を向上させる。					
授業の進め方・方法		様々な話題の音声教材を用いて演習を行い、英語の聴解力を向上させる。ペアワーク・グループワーク、プレゼンテーションを通じて英語で自己表現する機会を多く与える。英語表現やフレーズの定着に関してはCEFR A1レベルのテキストを用いて、小テストを実施することで定着を確認する。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Unit 1 Getting to know each other		授業の進め方を把握する。2年初回時のリスニングとライティングのレベルを確認する。		
		2週	Unit 1 Getting to know each other		英語で初歩的な聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、自分自身のことを相手に適切に表現することができる。		
		3週	Unit 2 Making Comparisons		英語で初歩的な聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で適切に表現することができる。ライティング (主張・根拠・具体例・結論) の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。		
		4週	Unit 2 Making Comparisons		英語で初歩的な聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で適切に表現することができる。ライティング (主張・根拠・具体例・結論) の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。高校1年生程度の語彙表現の知識を持つ。		
		5週	Unit 3 Talking about Work		既習表現を用いて、人前で自分自身について英語で発表型プレゼンテーションができる。		
		6週	Unit 3 Talking about Work		英語で初歩的な英会話の聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で他者とコミュニケーションをとることができる。		
		7週	Unit 4 Giving Directions		英語で初歩的な英会話の聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で他者とコミュニケーションをとることができる。		
		8週	前期中間試験		前期中間試験までの学習内容を理解することができる。		
	2ndQ	9週	Unit 5 Travel English Part I: Traveling to Korea		前期中間期の学習習熟度を確認する。		
		10週	Unit 5 Travel English Part I: Traveling to Korea		英語によるプレゼンテーションの内容を理解することができる。リスニングのないように興味・関心をもって、同様のテーマに関して英語で表現できるようにグループで英語活動に取り組むことができる。		
		11週	Unit 6 Talking about Experiences		電話のやりとりを聞いて、電話で用いられる表現を理解することができる。説得型プレゼンテーションの形を理解し、グループ内で英語活動に取り組むことができる。		
		12週	Unit 6 Talking about Experiences		簡単な英会話を聞いて必要な単語を聞き取り、大まかな内容を理解することができる。ライティング (主張・根拠・具体例・結論) の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。		
		13週	Unit 7 Talking about the Past		ライティング (主張・根拠・具体例・結論) の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。高校1年生程度の語彙表現の知識を持つ。		

後期		14週	Unit 7 Talking about the Past	グループで英語で説得型プレゼンテーションができる。 夏休みの予定について英会話を聞きとることができる。 自分の予定についても他者に伝えることができる。
		15週	Unit 8 Talking about Food	夏休みの予定について英会話を聞きとることができる。 自分の予定についても他者に伝えることができる。 前期期末試験までの学習内容を理解することができる。
		16週	前期末試験	前期期末期の学習習熟度を確認する。
	3rdQ	1週	Unit 9 Talking about Health	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。 簡単な英語のニュースを聞きとることができる。 聞き取った話題をもとに他者と英語によるコミュニケーションを取ることができる。
		2週	Unit 9 Talking about Health	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。 ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。
		3週	Unit 10 Suggesting & Inviting	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。 他者と英語によるコミュニケーションを取ることができる。 ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。
		4週	Unit 10 Suggesting & Inviting	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。 高校1年中期程度の語彙表現の知識を持つ。
		5週	Unit 11 Travel English Part II: Restaurants	準備した原稿をもとに、人前で自分の意見について英語で発表型プレゼンテーションができる。
		6週	Unit 11 Travel English Part II: Restaurants	ある話題について英語で自分の意見や考えを述べる ことができる。
		7週	Unit 12 Talking about the Past (Part II)	ある話題について英語で自分の意見や考えを述べる ことができる。 高校1年中期程度の語彙表現の知識を持つ。
		8週	後期中間試験	後期中間期の学習習熟度を確認する。
	4thQ	9週	Unit 13 Travel English Part III: Shopping	日常で使われる英語表現を聞き取り、理解できる。 英語で自分の思いや意見を他者に述べる ことができる。
		10週	Unit 13 Travel English Part III: Shopping	日常で使われる英語表現を聞き取り、理解できる。 英語で自分の思いや意見を他者に述べる ことができる。
		11週	Unit 14 Giving Advice	日常で使われる英語表現を聞き取り、理解できる。 ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を 学び、自分の考えを述べる ことができる。
		12週	Unit 14 Giving Advice	英語のニュースを聴き取ることができる。 ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、 自分の考えを述べる ことができる。
		13週	Unit 15 Talking about Unreal Situations	自分自身の将来の夢や職業について英語で考えを述べ ることができる。
		14週	Unit 16 Talking about Movies & Television	グループで英語で説得型プレゼンテーションができる。
		15週	Unit 17 Talkopoly: Review	後期期末までの学習内容を理解することができる。 1年修了時のリスニングのレベルを確認する。
		16週	後期末試験	後期期末期の学習習熟度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握に必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	

			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	小テスト・発表	提出物	合計
総合評価割合	75	15	10	100
基礎的能力	75	15	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0